



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月26日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東  
 コード番号 7296 URL http://www.fcc-net.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 住田 四郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 中谷 賢史 TEL 053-523-2400  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年11月26日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	61,002	12.5	5,168	21.6	5,019	18.9	3,265	19.0
24年3月期第2四半期	54,212	△7.8	4,250	△38.7	4,222	△38.2	2,744	△40.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,275百万円 (30.4%) 24年3月期第2四半期 978百万円 (△59.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	65.06	—
24年3月期第2四半期	54.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	103,658	81,996	73.2
24年3月期	103,937	81,208	72.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 75,881百万円 24年3月期 75,168百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
25年3月期	—	18.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	2.5	11,000	△0.5	11,000	△4.3	7,000	△3.8	139.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）愛富士士（中国）投資有限公司、除外 1社（社名）－  
（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無
- （注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	52,644,030株	24年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,455,058株	24年3月期	2,455,058株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	50,188,972株	24年3月期2Q	50,189,056株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、インドネシア、ブラジル、タイ、インド等における二輪車用クラッチ販売は減少したものの、主要顧客の四輪車生産の回復により売上高は61,002百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は5,168百万円（前年同期比21.6%増）、経常利益は5,019百万円（前年同期比18.9%増）、税金等調整前四半期純利益は4,985百万円（前年同期比14.9%増）、四半期純利益は3,265百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 二輪車用クラッチ

景気減速による新興国における二輪車需要の鈍化、インドネシア・ブラジルにおけるローンで購入する際の与信管理の強化及び円高の影響等により売上高は33,488百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益は3,299百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

#### ② 四輪車用クラッチ

日本、北米における主要顧客の生産が順調に回復したことに加え、フォード向け販売も堅調に推移したことにより売上高は27,513百万円（前年同期比43.4%増）、セグメント利益は1,869百万円（前年同期は473百万円のセグメント損失）となりました。

地域別の状況は次のとおりであります。

#### ① 日本

主要顧客の四輪車生産の回復により売上高は16,970百万円（前年同期比20.0%増）、営業利益は1,940百万円（前年同期比242.3%増）となりました。

#### ② 北米

主要顧客の四輪車生産が順調に回復したことに加え、フォード向け販売も堅調に推移したことにより売上高は14,286百万円（前年同期比49.7%増）、営業利益は630百万円（前年同期比496.3%増）となりました。

#### ③ アジア

景気減速による二輪車需要の鈍化、インドネシアにおけるローンで購入する際の頭金規制の実施、並びに円高の影響等により売上高は27,849百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は2,307百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

#### ④ その他の地域

ローンで購入する際の与信管理の厳格化及び円高の影響等により、ブラジルにおける二輪車用クラッチ販売は1,895百万円（前年同期比23.2%減）、営業利益は289百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は103,658百万円となり、前連結会計年度末に比べ279百万円減少いたしました。流動資産は55,710百万円となり、755百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が677百万円減少したものの、現金及び預金が207百万円、たな卸資産が795百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,034百万円減少し、47,947百万円となりました。これは主に有形固定資産が178百万円増加したものの、投資有価証券の時価評価により投資有価証券が1,384百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は21,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,066百万円減少いたしました。流動負債は17,152百万円となり、560百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が597百万円減少したことによるものであります。固定負債は4,509百万円となり、506百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は81,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ787百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の時価評価によりその他有価証券評価差額金が887百万円、為替換算調整勘定が1,561百万円減少したものの、利益剰余金が3,162百万円増加したことによるものであります。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は20,449百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は4,913百万円(前第2四半期連結累計期間は4,864百万円の獲得)となりました。

これは主に前年同期と比べたな卸資産が1,208百万円増加し、仕入債務が1,529百万円減少したものの、税金等調整前四半期純利益が646百万円増加し、売上債権が2,240百万円、法人税等の支払額が342百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は3,933百万円(前第2四半期連結累計期間は5,336百万円の使用)となりました。

これは主に前年同期と比べ有形固定資産の取得による支出が803百万円、貸付けによる支出が1,047百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1,210百万円(前第2四半期連結累計期間は1,324百万円の使用)となりました。

これは主に前年同期と比べ短期借入金が増加した175百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績見通しにつきましては、インドネシア、インド、タイ、ベトナム、ブラジル等の新興国における二輪車用クラッチ販売が期初計画を下回る見通しとなることに加え、中国における日本製品不買運動及び一部新興国通貨における円高の進展による影響等もあり、次の通り修正いたします。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

平成25年3月期通期連結業績予想値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	126,000	13,000	13,500	8,000	159.40
今回修正予想(B)	120,000	11,000	11,000	7,000	139.47
増減額(B-A)	△6,000	△2,000	△2,500	△1,000	
増減率(%)	△4.8	△15.4	△18.5	△12.5	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	117,068	11,056	11,494	7,276	144.98

※ 主要通貨の第2四半期連結累計期間実績、第3・第4四半期連結会計期間及び通期の想定為替レートは次のとおりです。

	第2四半期連結 累計期間実績	第3・第4四半期 想定レート	通期想定レート
	円	円	円
1米ドル	79.42	78.00	78.71
1タイバツ	2.54	2.50	2.52
1インドネシアルピア	0.0085	0.0084	0.0084
1インドルピー	1.47	1.41	1.44

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、愛富士（中国）投資有限公司は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （有形固定資産の減価償却の方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社は定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）は定額法）、在外連結子会社は主として定額法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間よりすべての有形固定資産について定額法に変更しております。

この変更は、今後、当社グループにおいて大型の設備投資、更新が見込まれることから、その使用実態を見直し、加えて、当社グループのグローバル展開の進展を踏まえ、会計処理の統一を図る為に、減価償却方法を再検討した結果、定額法が当社グループの企業活動をより適切に反映していると判断したことによるものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ528百万円増加しております。

#### （有形固定資産の耐用年数の変更）

当社グループの有形固定資産の使用実態を見直した結果、当社及び一部の在外連結子会社は第1四半期連結会計期間より一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ384百万円減少しております。

#### （連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、決算日が12月31日であった在外連結子会社（エフシーシー（タイランド）カンパニーリミテッド、台湾富士離合器股份有限公司、ピーティー エフシーシー インドネシア、エフシーシー（ベトナム）カンパニーリミテッド）については、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この変更により、当第2四半期連結累計期間は、平成24年4月1日から平成24年9月30日までの6か月間を連結しております。

なお、平成24年1月1日から平成24年3月31日までの3か月間の損益については利益剰余金に、現金及び現金同等物の増減については、四半期連結キャッシュ・フロー計算書の連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額にそれぞれ計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,865	21,073
受取手形及び売掛金	16,769	16,091
商品及び製品	2,077	2,369
仕掛品	2,569	2,585
原材料及び貯蔵品	8,572	9,059
その他	4,105	4,537
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	54,955	55,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,280	23,505
減価償却累計額	△11,764	△12,360
建物及び構築物（純額）	11,516	11,144
機械装置及び運搬具	62,852	62,005
減価償却累計額	△47,703	△47,112
機械装置及び運搬具（純額）	15,148	14,893
工具、器具及び備品	10,697	10,736
減価償却累計額	△9,308	△9,370
工具、器具及び備品（純額）	1,388	1,366
土地	7,367	7,119
建設仮勘定	3,082	4,158
有形固定資産合計	38,504	38,682
無形固定資産		
のれん	1,032	894
その他	467	459
無形固定資産合計	1,499	1,354
投資その他の資産		
投資有価証券	6,829	5,445
その他	2,198	2,512
貸倒引当金	△49	△47
投資その他の資産合計	8,978	7,910
固定資産合計	48,982	47,947
資産合計	103,937	103,658

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,851	8,253
ファクタリング債務	2,453	2,536
短期借入金	206	323
未払法人税等	899	967
賞与引当金	1,331	1,293
事業整理損失引当金	336	336
その他	3,634	3,441
流動負債合計	17,713	17,152
固定負債		
退職給付引当金	1,571	1,559
その他	3,444	2,950
固定負債合計	5,015	4,509
負債合計	22,728	21,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175	4,175
資本剰余金	4,566	4,566
利益剰余金	78,720	81,883
自己株式	△3,407	△3,407
株主資本合計	84,054	87,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,076	2,188
為替換算調整勘定	△11,962	△13,524
その他の包括利益累計額合計	△8,886	△11,335
少数株主持分	6,039	6,114
純資産合計	81,208	81,996
負債純資産合計	103,937	103,658



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	54,212	61,002
売上原価	44,773	50,317
売上総利益	9,438	10,684
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	610	625
給料及び手当	1,014	1,314
賞与引当金繰入額	203	208
退職給付費用	138	129
減価償却費	97	101
研究開発費	1,415	1,457
その他	1,709	1,680
販売費及び一般管理費合計	5,188	5,516
営業利益	4,250	5,168
営業外収益		
受取利息	148	187
受取配当金	63	70
持分法による投資利益	14	8
その他	127	138
営業外収益合計	354	405
営業外費用		
支払利息	11	3
為替差損	354	521
その他	17	28
営業外費用合計	382	554
経常利益	4,222	5,019
特別利益		
固定資産売却益	29	71
負ののれん発生益	83	—
補助金収入	40	1
特別利益合計	153	73
特別損失		
固定資産除売却損	37	107
特別損失合計	37	107
税金等調整前四半期純利益	4,338	4,985
法人税等	1,135	1,215
少数株主損益調整前四半期純利益	3,203	3,770
少数株主利益	459	504
四半期純利益	2,744	3,265

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,203	3,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△913	△906
為替換算調整勘定	△1,314	△1,579
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△8
その他の包括利益合計	△2,224	△2,494
四半期包括利益	978	1,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	843	807
少数株主に係る四半期包括利益	135	467

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,338	4,985
減価償却費	3,004	2,895
のれん償却額	137	137
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	△18
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5	△24
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11	—
受取利息及び受取配当金	△212	△257
支払利息	11	3
為替差損益(△は益)	3	110
持分法による投資損益(△は益)	△14	△8
固定資産除売却損益(△は益)	7	35
負ののれん発生益	△83	—
補助金収入	△40	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,299	941
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119	△1,327
その他の資産の増減額(△は増加)	480	124
仕入債務の増減額(△は減少)	790	△739
ファクタリング債務の増減額(△は減少)	△120	△54
その他の負債の増減額(△は減少)	△237	△504
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2	3
小計	6,613	6,298
利息及び配当金の受取額	293	292
利息の支払額	△31	△10
災害損失の支払額	△1	—
法人税等の支払額	△2,009	△1,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,864	4,913
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△256	△594
定期預金の払戻による収入	214	244
有形固定資産の取得による支出	△4,639	△3,835
有形固定資産の売却による収入	122	571
無形固定資産の取得による支出	△39	△26
投資有価証券の取得による支出	△47	△21
投資その他の資産の増減額(△は増加)	0	△52
貸付けによる支出	△2,924	△1,877
貸付金の回収による収入	2,194	1,672
その他	39	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,336	△3,933

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8	184
長期借入金の返済による支出	△49	△73
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△802	△802
少数株主への配当金の支払額	△480	△519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,324	△1,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	△343	△850
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,141	△1,080
現金及び現金同等物の期首残高	22,545	20,591
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	938
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,404	20,449

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。